

## 平成 29 年度事業計画 重点方針

本年度は、マネジメント業界の共同体（連盟）として存在感をより高めるため、引き続き既存事業の選択と集中をさらに進めるとともに、経済産業省をはじめとする関係省庁とのパイプを太くして密接な協力関係を構築していく。

- (1) 全能連創立70周年に向け、9月より新たに国際委員会（仮称）を組織し、グローバル時代に対応した記念大会の企画内容を検討していく。また、創立70周年に向けた新事業企画についてもヒアリングや会合開催を通じて調査・研究する。

**\* 常任委員会、国際WG（仮称）での70周年記念事業の検討**

- (2) 全能連認定資格のPR、ならびに同資格取得者の交流のため、地域交流会を積極的に開催する。特に、MI（マネジメント・インストラクター）取得希望者が多い関西地域におけるプロモーションに重点を置く。

**\* 地域交流会開催（大阪・福岡など）**

**<対象：MC/MI 資格取得者、研修講師従事者、企業の人事担当者>**

- (3) 公益社団法人としての全能連の役割・諸活動や関連する業界情報、ならびに国際的な大会・イベント情報などを、会員団体やMC/MIなどの全能連資格認定者はもとより内外へ積極的に発信し、広く産業社会に対し本連盟の認知度向上を図っていく。

**\* ブログ・メールによる情報提供の継続実施と充実**

以上

## 2. 事業別計画

### 公1 経営・マネジメント支援等事業

#### (1) 全国能率大会事業

第68回全国能率大会として、産業経済発展のための支援を担うマネジメント関係団体の発展、ならびにそこに働く人材の育成に向けた2つのプログラム（経営・技術大会、優秀論文発表会）を引き続き実施する。

#### 【経営・技術大会】

昨今の経営課題の解決に係わるテーマ、また、これからの経営技術に係わる方向性や、経営革新事例の発表を通し、参加者の経営革新推進を図るため、情報提供を行う。

◇開催日：平成29年9月27日（水）

◇会場：アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）

#### 【優秀論文発表会】

- ・「経営の科学化推進」の基盤となる経営技術の発展・促進や産業振興、経営技術向上への挑戦を目的として、論文募集活動を展開する。
- ・会員外にも広く門戸を開き、より広く広報に努め、応募の質・量の拡大を図る。
- ・応募論文より第1次審査にて優秀論文10編を選定し、優秀論文発表会にて発表・第2次審査を行い、経済産業大臣賞、経済産業政策局長賞候補ならびに全能連賞を選定する。この表彰を平成29年度社員総会時（5月）に行う。

◇開催日：平成30年1月初～中旬

◇会場：一般社団法人 日本能率協会 研修室（東京都港区（予定））

#### (2) マネジメント関係資格称号認証・認定事業

#### 【資格称号認証事業】

- ・申請があり次第、該当委員会の審査を経て、なるべく速やかに認証するとともに、認証資格の運営状況に対して、継続し観察する体制を維持していく。
- また、認証した資格については、広く産業界に告示し、資格を取得しようとする個人や企業が的確に選択できるよう情報提供の効果を高めていく。

#### 【MC認定】

- ・広報を強化し、認定MCへの情報提供を質量ともに強化を図る。
- ・MC取得後教育を検討する。
- ・認定MC、MI他関係者に向けた自己研鑽と相互のネットワーキングを目的とする「マネジメント交流会」を年2回程度開催する。
- ・認定は、例年どおり4月1日とし、認定者に対し認定証の交付及び官報公示を行い、認定されたMCは全能連ホームページ上で広報する。

#### 【MI 認定】

- ・今年度も、引き続き既存の取得者への情報提供とともに、企業の人事担当者に向けたプロモーションを積極的に行う。
- ・プロレベルのエキスパート・マネジメント・インストラクター（EMI）にCMC資格の付与が出来るようになったメリットを、積極的にアピールしていく。
- ・認定は4月1日とし、認定者に対し認定証の交付及び官報公示を行い、認定されたMIは全能連ホームページ上で広報する。

#### 【会員協同資格】

- ・会員協同により展開している全能連認定資格（ITPS、BPIE、HPMP）の認知度を高めるための広報活動を強化する。

### （3） マネジメント関係調査研究事業

#### 【調査研究】

- ・創立70周年に向け、調査研究実施に向けた具体的な計画作成に着手する。

#### 【海外との情報交流】

- ・5月5～6日開催のICMCI Asia Pacific Hub(シンガポール) への参加をMC・MMC/EMIに対し呼びかけ、アジア地域を中心とした他国からの参加コンサルタントとの交流をはかるとともに、我が国関係者に役立つ情報収集とチャンネルづくりを推進する。

### （4） 会員内事業

#### 【会員交流の促進】

- ・定時社員総会開催後、また優秀論文発表会後に行う会員情報交流会の開催を通じて、会員間及び関係官庁との情報交流・アライアンスの探求など新たな事業やビジネスに繋がる「交流の場」の拡大を引き続き図っていく。

### 収他1 顕彰者表彰事業

前年度とほぼ同様に、4月に募集を開始し9月に顕彰式を挙げるスケジュールで実施する。今後、いまだ利用の無い会員に対し利用を働き掛けるとともに、利用していた会員にさらに満足いただける演出・サービスの充実に努める。

以上